岩盤ボーリング柱状図

調査名	畠敷地区急傾斜地崩壊対策事業に伴う測量・地質調査・設計・用地調査業務委託(交付金)
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	その他　掘削・掘削のり面

ボーリング名	R4B-1	調査位置	広島県三次市畠敷町	北緯	34° 48' 45.6288"
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	令和4年10月 3日～ 令和4年10月 4日	東経	132° 52' 10.3557"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 169.00m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	11.00m	地盤勾配	31° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D-0 / エンジン：ヤンマーNFD-10 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	記事	孔内水位/測定月日
1	167.91	1.09		礫混じりシルト質砂	淡褐							草根を含み，細砂～中砂を主体とする未固結堆積物である。φ1～4cm程度の角礫を混入し，深度方向にその含有率が増す。0.0～0.15m，草根のみ。	10/4 4.51
2	166.70	2.30		花崗斑岩	褐緑灰	w3	h2	C	Ⅲ / Ⅱ	b	CL	岩片の硬い片状コアとして採取される。ハンマー軽打で金属音がする。	
3				安山岩	淡青灰				Ⅲ			亀裂質な安山岩。2.3～2.5m，80度傾斜の密着した花崗斑岩と安山岩の地質境界。2.5～7.0m，亀裂が茶色く変色し，亀裂に沿って岩芯まで風化している。3.0～4.0m，岩片は硬いが60～80度程度の亀裂が多く，亀裂に沿って剥がれる。3.4m付近，掘削水が全漏水する。	
4													
5									Ⅱ				
6									Ⅲ			5.7～5.8m付近，幅20mm程の砂状の脈に沿って風化し，脈周囲の岩片は礫状となっている。	
7						w2			Ⅳ	c		7.0～9.35m，亀裂が多く，亀裂に沿って割れる。	
8													
9	159.39	9.61							Ⅴ	d	D	9.35～9.61m，φ1～4cm程度の礫状コア。	
10	158.55	10.45		花崗斑岩	淡緑灰		h3 / h2	D / C	Ⅵ / Ⅲ	a	CL	白色脈が網目状に卓越している。	
11	158.00	11.00		安山岩	淡青灰		h3 / h2	E / C	Ⅴ / Ⅲ	c / a	D / CL	9.61～9.73m，60度傾斜の白色脈が発達しており，周囲のコアが軟質である。指圧で容易に崩れる。10.0～10.45m，白色脈が発達しており，周囲のコアが軟質である。脈部は指圧で崩れる。岩級区分はDH級相当である。岩片は硬いが，片状コアとして採取される。ハンマー軽打で金属音がする。	
12													
13													
14													
15													
16													

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
50以上	1.05 / 1.09	50	40	
50以上	2.00 / 2.02	50	20	
50以上	3.00 / 3.02	50	20	
50以上	4.00 / 4.01	50	10	
50以上	5.00 / 5.01	50	10	
50以上	6.00 / 6.01	50	10	
50以上	7.00 / 7.02	50	20	
50以上	8.00 / 8.01	50	10	
50以上	9.00 / 9.01	50	10	
50以上	10.00 / 10.01	50	10	
50以上	11.00 / 11.01	50	10	

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
10/3	67	66ケーシング / 打込み/打込みシュー		0	0	0	0	0
						0	2	2
						0	2	0
	66	W/D	20	200				
	80					0	2	2
10/4								